

令和7年10月8日  
愛媛大学

## ミジンムシダマシ科の世界の種のリスト ～コロナ禍で行った研究～

愛媛大学ミュージアムの吉富博之教授（大学院農学研究科兼任）は、ミジンムシダマシ科 Discolomatidae の世界の種のチェックリストを作成しました。

本科はこれまで約400種が世界で知られるとされてきましたが、網羅的な文献調査を行った結果、現段階で499種9亜種が記載されていることが判明しました。

本研究成果は、動物分類学の学術誌 Zootaxa から、2025年10月2日に発行掲載されました。



日本で普通に見られるクロミジンムシダマシ

※ぜひ取材くださいますよう、お願いいたします。

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学ミュージアム（愛媛大学大学院農学研究科兼任）

教授 吉富 博之

TEL: 089-946-9898

Mail: [hymushi@agr.ehime-u.ac.jp](mailto:hymushi@agr.ehime-u.ac.jp)

※送付資料3枚（本紙を含む）

### <研究成果>

愛媛大学ミュージアムの吉富博之教授（大学院農学研究科兼任）は、未整理であった世界のミジンムシダマシ科の種のチェックリストを作成しました。この結果、世界から約400種が知られると考えられてきた同科は約500種がこれまでに記載されていることが判りました。また、1つの異物同名に新名を与え、1種の属の所属を変更しました。

### <研究の背景>

2020年にはじまったコロナ禍で、愛媛大学でもロックダウンを経験しました。授業や実習はオンラインで行い、研究活動は強く制限を受けました。昆虫分類学は、標本と文献と顕微鏡があれば研究活動はある程度は進められるため、ロックダウンの影響を受けにくい学問分野です。しかし、野外調査の自粛や研究室に出てくることを禁止され、思うように研究が進められない側面もありました。そんな中、思いついて進めたのが本研究です。

ミジンムシダマシ科は世界で知られる微小な甲虫類の1科です。菌類などを食べる生態があり、テントウムシ科と近縁と考えられています。日本からは14種が知られています。1959年に世界の種のリストが作られ、その段階で313種がリストアップされていました。しかし、その後の研究は進んでおらず、加えて1959年のリストも不完全であることが判っています。最近では400種程度が世界で知られると考えられていましたが、全容がよく判っていませんでした。世界的にもまだ新種が多数見つかる可能性があるグループですが、①体が微小であること、②これまでに知られている種のチェックリストが整備されていないこと、③これまでに記載された種の再検討が必要なこと、以上の3点が分類学的研究を遅らせる要因になっていました。そこで、このうち②の問題を解決しようと、ミジンムシダマシ科で記載された種のリストを作成するために、網羅的な文献調査を行い、種のチェックリストを作成しました。

### <成果内容>

網羅的な文献調査は、インターネットの検索だけでは不完全です。図書館の文献複写を利用しました。しかし、古い文献類、特に1940年代から1970年代の文献類は書誌情報が不完全なものがあり探すのに苦労しました。これらの多くはインターネット上でも情報が出てこないものでした。図書館司書の手助けにより必要な文献を全てそろえることができました。200編以上の文献を収集し、記録を整理したところ、499種9亜種が世界から記載されていることが判りました。そのうちの1種については、異なる種に同じ名前が与えられている（異物同名：ホモニム）ことが判り、新名を与えました。また、1種は属の所属が間違っていることが文献を見て判明しました。

### <展望>

今回の論文では499種9亜種を確認しました。これで分類学的研究を行う礎が1つできたので、世界的にも本科の分類学的研究が進むことが期待されます。

論文が公開される前に、世界のミジンムシダマシ科の種数を AI (ChatGPT) に尋ねてみました。すると約 400 種が知られるとの回答が得られました。今回の研究によりこの数字が 500 になっただけです。しかし、人間が地道に作業をしなければ、この事実は判らなかったことです。

<論文情報>

掲載誌：Zootaxa 5701(2): 101-121.

題名：An annotated checklist of the family Discolomatidae (Coleoptera: Coccinelloidea) of the world

(世界のミジンムシダマシ科(甲虫目:テントウムシ上科)のチェックリスト)

著者：HIROYUKI YOSHITOMI (吉富博之)

URL： <https://www.biotaxa.org/Zootaxa/issue/view/zootaxa.5701.2>